

Abstract

AROMA RESEARCH No.75(Vol.19 No.3)

中強度の運動後の若い女性から採取した末梢血好中球の活性化反応に及ぼす
ローズウォーターの抑制作用

丸山奈保、島崎直樹、下村一之、安部茂

<要旨>

ローズウォーターは、日常のスキンケアや皮膚トラブルなどに広く使用される。我々は既に、ローズウォーターが抗菌活性を示すとともに、皮膚での炎症の悪化要因となり得る好中球の活性化を抑制することを報告した。このことは、ローズウォーターが、好中球の関与する様々なタイプの炎症症状の緩和に役立つ可能性を示している。今回、我々は、運動部の女子大学生ボランティア 6 名を対象に、4.5 km ランニング後の採血から得た好中球を用い、刺激による好中球の粘着反応に対するローズウォーターの効果を検討した。ローズウォーターは、TNF- α 刺激により誘導される運動時の好中球の活性化を 3-15%で抑制した。今回の結果から、ローズウォーターが、好中球の活性化を抑制することにより、運動後に起こりうる炎症症状の悪化を緩和する可能性が示唆された。

<キーワード>

ローズウォーター、*Rosa damascena*、炎症、運動、好中球